

平和のオブジェ～平和船～、食を楽しむ

24番 野中 綾

【制作意図・コンセプト】

研究テーマの『平和』とは世界みんなの共通の願いと考えています。そこで、自然と人間をイメージしたオブジェに地球を支えさせて船の上に乗せました。船とは海を超えて世界どこにでも行ける物です。人間や自然に支えられている平和な地球を世界中に運びたいという思いを込めて船を土台にしたオブジェにしました。菓子入れとお皿は自然にできた木の木目を活かすために蒔絵は入れませんでした。菓子入れは1人が使う物ではなく家族や友達など、みんなで使えるサイズのものを作り、団らんの際で使える物にしました。

【制作物】

- ・オブジェ
- ・菓子入れ 1
- ・お皿(小) 2、お皿(中) 2

【制作過程】

- オブジェ(球体)
- (1)布着せ(寒冷紗+のり)
オブジェを強化させるために行う。
 - (2)目摺り(砥粉+地粉+水+生漆)
寒冷紗の目を消す。
 - (3)錆びつけ(砥粉+水+生漆)
 - (4)錆固め(生漆)
 - (5)下塗り・中塗り(スグロメ漆)
 - (6)上塗り(呂色漆)
 - (7)拭き漆(生漆)
漆を落着かせる
 - (8)胴刷り(油 研磨剤)
 - (9)呂色仕上(艶上げ)

- オブジェ(土台)
- * (1)~(6)まで同じ。
 - (7)乾漆粉をまく
マットに仕上げるため。
 - (8)塩化ビニル系の塗料で固める

- 菓子入れ・お皿
- (1)延漆(生漆+シンナー)
木になじませる
 - (2)拭き漆(生漆)
木目を活かすために生漆を薄く付けていく。
 - * (2)を何回も繰り返す。

【感想】

私は初めて漆と聞いたときのイメージは『漆(伝統)は堅く重たい感じがなかなか身近にない物』というイメージがありました。しかし授業で実際に漆を使って初めて、そのようなイメージが変わりました。テレビで見たり話を聞くだけではなく、実際に自分の手で伝統に触れることにより、漆の本当のすばらしさや美しさを知ることができました。これは漆だけではなく、これから生きていく中で『実際に自分で行動してみる』ことの大切さを学びました。今回の研究で得られた経験や知識を大切に、今後の生活に活かすと共に伝統を守っていきたいです。

平和のオブジェ～平和船～
地球を船に乗せて運ぶイメージで制作。

菓子入れ 1枚



中皿 2枚



小皿 2枚



全体の写真